

令和6年度の区立小・中学校給食用食材費高騰への対応について

1. 主旨

エネルギー価格・物価高騰が続く中、学校給食の実施にも多大な影響が生じており、区では、令和4年6月分から現行の給食費単価の10%相当分を、令和5年12月分からは15%相当分を上乗せし、食材費を増額して対応している。

令和5年12月に東京都より、令和6年度の学校給食用牛乳の供給価格の引き上げが見込まれる旨の情報提供があったことを踏まえ、今後も学校給食を安定的に維持・継続していくために、令和6年度の食材費の増額を現行の学校給食費単価の15%相当分から18%相当分として対応する。

2. 対応内容

都からの情報提供によると、牛乳一本あたりの供給価格の上昇額は生乳価格の上昇額（約2.23円）に、物流コストや人件費、製紙代等の上昇分が反映され、その上昇分は生乳価格の上昇額を上回る可能性があると示されている。生乳価格と物流コスト等を合わせた上昇額は4.46円+ α となる見込みであり、4.46円に消費税を加えた4.82円は、基準とする小学校中学年の給食費単価272円の1.77%に相当することから、プラスの上昇分（ α ）を含めた3%を現行の食材費増額分（15%相当分）に加え、学校給食費単価に18%相当分を上乗せして対応する。

【食材費の増額（18%相当分）】

474, 878千円（令和6年4月分から令和7年3月分までの食材費の増額分）

※15%相当分から75, 470千円の増

【参考】

①学校給食用牛乳供給価格（消費税相当額除く）

年度	R4	R5	R6（見込み）
価格 （一本あたり）	53.80円	58.44円 (4.64円増)	62.9円以上 (4.46円+ α の増)

②一食あたりの食材費の増額分（18%相当分）

対象	現給食 費単価	増額分 (15%)	増額分 (18%)	18%増額 後の単価
小学校(低学年)	244円	37円	44円	288円
小学校(中学年)	272円	41円	49円	321円
小学校(高学年)	294円	45円	53円	347円
中学校(自校方式)	337円	51円	61円	398円
中学校(調理場方式)	313円	47円	57円	370円

3. 今後のスケジュール

令和6年 2月～ 学校周知

4月～ 保護者周知

食材費増額（18%相当分上乗せ）の実施